



園 だ よ り

令和7年6月2日

千川保育園

*一人ひとりの子どもの気持ちを大切に“愛される喜び”“愛する喜び”を感じられる保育を創造します。

紫陽花の花が色づきはじめ、梅雨の気配を感じる時期となりました。このところ、お天気の良い日は気温がグングン上がり、真夏のような暑さです。まだ身体が暑さに慣れていないだけでなく朝晩の寒暖差も大きいので、体調不良や熱中症にも気を付けていきたいと思います。

6月は雨も多くなりますが、この季節だからこそできる活動の工夫をして、元気に楽しく過ごしていきたいと思ひます。

◆今月の行事

- 3日(火) つぼみ、あかちゅうりっぷ身体測定
- 4日(水) きいろちゅうりっぷ組身体測定
- 5日(木) 耳鼻科検診 9:00~
- 6日(金) たんぽぽ組身体測定
- 7日(土) 0, 1 歳懇談会
- 10日(火) 幼児組測定
- 12日(木) 避難訓練
- 13日(金) 歯科検診 9:30~
- 16日(月) 内科健診
- 18日(水) 誕生会
- 20日(金) 5 歳 お楽しみ会
- 24日(火) じゃがいも堀り(4, 5 歳) 予備日25日(水)
- ◆今月の子育て支援 園庭開放 13:00~15:30 (月~金)
- プレママ・赤ちゃんひろば 10日(火) 13:30~14:15



おたんじょうび おめでとう!

ちゅうりっぷ組	1名
たんぽぽ組	2名
すみれ組	1名
ゆり組	3名
さくら組	5名



・・・お知らせ・・・

◆実習生が入ります。

6月23日(月)~7月5日(土)

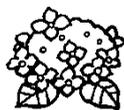
武蔵野大学3年生2名が0~5歳クラスに実習に入ります。どうぞよろしくお願ひいたします。



~夏の遊びについて~

これからの時期、急に暑くなることもあります。熱中症予防として遮光ネットでの日よけや水分補給、また暑さ指数も確認しつつ、(WBGT31度以上外遊び禁止)夏ならではの遊び、水遊び、プール活動(4・5歳)を実施していきます。

詳細につきましては、後日クラスからお知らせします。



“おおきな〜れ”

4, 5歳は園芸屋さんに野菜の苗や種を買いに行き、4歳はプランターににんじんとあさがお、5歳は畑できゅうりとトウモロコシとイエローポップ(ポップコーン用)を植えました。

3歳はプランターに、あさがおとラディッシュを育てる予定です。

「大きくな〜れ」と毎日水やりに励む子どもたちです。これからも程よいお日様☀️と雨☔️のパワーから、たっぷり土の栄養ももらって、もっともっとおおきな〜れ!!花が咲いたり、実がなるのが楽しみです。





令和7年度 千川保育園事業計画

今年度は4月の時点で0歳児3名、1歳児14名、2歳児4名、3歳児2名の新入園児を迎え、92名の園児でスタートしました。子ども協会の保育理念、園で掲げている『一人一人の子どもの気持ちを大切に”愛される喜び”“愛する喜び”を感じられる保育を創造します』というスローガンのもと、園目標・保育目標をたてて保育を進めていきます。「子どもや保護者が安心して通える保育園」を保護者の皆さんと子どもたちの育ちを共有しながら、ともに考えあい、日々を積み重ねていきたいと思ひます。お気づきの点がありましたら是非お知らせください。

<千川保育園の取り組みについて>

保育の質の維持・向上ができるよう努めていくために、園内では職員でプロジェクトを構成し、取り組んでいきます。各プロジェクトやチームの取り組みをお知らせします。

<園内研修>

園内研修では昨年に引き続き日頃保育の中で取り組んでいるリズムや巧技台遊びを深めるために、皆で実際に身体を動かして共有したり、使い方などの幅を広げたりしていきたい、また昨年度講師の先生を呼んで学んだ表現遊びやごっこ遊びについても学んでいきたいと考えています。各々の研修やみんなでの学びもどう深めていくかを検討しています。



<保育内容>

子どもたちが好きな遊びを見つけて楽しく遊べる保育環境や保護者の負担軽減、業務の効率化などICT化に向けて意図を確かめたり、活用方法の工夫などを考えて進めていけるように検討しています。

<5歳の保育を考える会>

“クラスの子どもの様子と担任の思いから、5歳の保育をともに考え学び合っていく”というねらいのもと月に1回を目安に集まって話をしています。行事を絡めての話が主軸となっていますが、保育園で一番大きい年長さんのより良い保育を目指して日々の中での子どもたちの姿を共有しながら取り組んでいます。そして、ここで話したことを園全体に発信していくことで、5歳の保育を園全体で考えていく、また5歳につながっていく全年齢の保育を考え、学び合っています。



<食と健康>

保育士、栄養士、調理師、保健師が集まり、子どもたちの食と健康についてそれぞれの専門職の立場から話しています。試食会や出前調理など食育活動の実施に向けて、できることを工夫したり、保健指導の進め方等も保育と共有したりしながら考えていきたいと思ひています。

<飼育>

園生活の中で、年齢、発達にあった動物を飼育しながら命の大切さを知り、感受性を養っていく保育を大切にしています。その動物、生き物たちと職員、子どもたち、保護者の方々のかけ橋をしているのが飼育プロジェクトです。園庭にいるたくさんの虫たち、うさぎのチョコちゃん、うこっけいのぴっぴとぴよちゃん、金魚、めだか等々のお世話を通しながら、子どもたちと一緒に小さい命を大切にしています。飼育活動や関わりを発信することで飼育活動の意味を保護者と職員で共有していきたいと思ひています。

<安全対策>

安全対策プロでは、様々な「災害への備え」を考えていきます。日頃の避難訓練の積み重ねや防犯防災対策とともに、職員の意識を高め、子どもたちの命を守る事、そして子どもたちもその年齢なりに自分で考え、命を守れる子どもに…と訓練の振り返りを行いながら、取り組んでいきたいと思ひます。施設内外の安全管理、危機管理にも留意して、安全点検や環境整備、物の管理にもつなげていきたいと思ひています。

<保護者と共に>

安心して子育てができるように、子どもを真ん中に保護者の方たちとコミュニケーションを図っていききたいと思ひています。保護者の会ともつながりながら、保育園の持つ特性や専門性を活かしたサポートをしていききたいと思ひています。

